

平成２９年度 第１回新子どもかがやきプラン推進委員会の報告について

１ 開催日時・場所

平成２９年８月３日（木） 午後２時から午後４時まで
於：県庁１１階 教育委員会会議室２

２ 議事

(１) 西濃高等特別支援学校（仮称）の校名について

- ・「西濃」等は、地域がわかるので、わかりやすい。
- ・協議の結果、県民からの公募件数が多い、「西濃」「水都」「伊吹」を校名案として良い。

(２) 新子どもかがやきプランに基づいた事業の展開について

ア 進路支援（進路説明会、合意的配慮、入試制度）について

○進路説明会・合理的配慮についての異議は無し。

○入試制度について

- ・軽度知的障がいのある生徒の学びの場を広げるための入試制度の在り方については、広く多方面から検討をしていく必要がある。
- ・入試制度だけではなく、高等学校側の受け入れ態勢を整えることが重要である。

イ 発達障がい等総合支援モデル事業について

- 「個別支援教室」モデル事業について、ICTを利用した学び方について取り入れるとよい。
- 少人数コミュニケーションモデル事業については、高校生に対して、どのようにスキルを身に付けさせるかが重要である。
- 高校生にとっては、本人が相談しやすい所があるとよい。
- 小学校・中学校・高等学校と個別の教育支援計画を引き継いでいくことが一番大切である。

ウ その他のご意見

- 高等部や高等特別支援学校の説明会について、通常の学級の保護者にも情報が伝わるようにしてほしい。

西濃高等特別支援学校（仮称）の校名について

1 校名案について（新子どもかがやきプラン推進委員会での選定結果）

- (案1) 岐阜県立 西 濃 高等特別支援学校
- (案2) 岐阜県立 水 都 高等特別支援学校
- (案3) 岐阜県立 伊 吹 高等特別支援学校

<選定にあたって考慮された点>

- ・公募による応募件数が多いこと
- ・学校の所在地がわかるような地名や地域名が入っているとよいこと
- ・名称から受けるイメージが良いこと

2 新子どもかがやきプラン推進委員会での審議等について

(1) 委員の構成（委員数：9名）

学識経験者（大学教授、医師）、保護者代表、学校関係者（特別支援学校、小中学校、高等学校の校長）、関係機関の代表等（知的障がい者団体、障がい者の就労・生活支援機関）

(2) 開催日

平成29年8月3日（木）

(3) 校名に関する審議結果

	校 名	主 な 意 見
1	西濃 高等特別支援学校	・ 応募件数が一番多い（316票、全体の29%） ・ <u>学校の所在地と校名が適合している。</u>
2	水都 高等特別支援学校	・ 応募数が2番目に多い（118票、全体の11%） ・ <u>大垣のイメージに合致する。</u>
3	伊吹 高等特別支援学校	・ 応募数が3番目に多い（87票、全体の8%） ・ <u>地域のイメージに合致する。</u>

3 今後のスケジュール

平成29年 9月 定例教育委員会で校名案を決定
校名案として公表

平成29年12月 県議会での議決により正式決定
（「岐阜県公の施設の設置及び管理に関する条例」の改正）

西濃高等特別支援学校(仮称) 校名応募状況

1 募集の概要

- (1) 募集期間 : H29年5月22日からH29年7月10日まで(50日間)
- (2) 募集内容 : 岐阜県立〇〇〇〇高等特別支援学校(〇〇〇〇の名称)
- (3) 募集方法 : 岐阜県ホームページ、県Facebookへの掲載、
小・中・義務教育学校、特別支援学校等への依頼

2 応募の集計結果

- (1) 応募総数 1,095点
- (2) 校名案について

順位	校名案	応募数	備考
1	西濃	316	
2	水都	118	
3	伊吹	87	
4	西美濃	45	
5	水の都	36	
6	大垣	25	
7	大垣水都	24	
8	いぶき	22	
9	岐阜水都	19	
10	西濃水都	15	

※応募があった名称のうち上位10点

(参考)名称の種別件数

- イメージに関連するもの 503点 (水都、伊吹、水の都など)
- 地名・地域に関連するもの 439点 (西濃、西美濃、大垣など)
- 複合案 153点 (大垣水都、岐阜水都、西濃水都など)

(3) 応募者の内訳

区分	人数
小学校関係者	105
中学校関係者	55
高等学校関係者	1
特別支援学校関係者	909
一般	25
合計	1,095

過去の校名選定にあたって考慮された点

- ・応募数が多いもの
- ・学校の所在地と校名が地理的に適合していること
- ・通学する生徒の居住地の範囲と校名が関連性があること
- ・既存の特別支援学校の校名とのバランスがよいこと
- ・長すぎたり、難しい字があまり入らないこと
- ・地域から親しまれるような名称であること